

**MORE FUN,  
IF YOU ARE  
WITH US!!!**

**あなたがいれば、  
もっと楽しい!!**

ひとりで悩まないで、みんなで  
解決していく。子どもたちと自分たち  
のため、できることがもっと広がる。

「組合ってなに?」MOVIE  
3分でわかる!興味のある方はこちら

ZENKYO 全教 @ZenkyoOfficial

↑動画「組合ってなに?」  
 (「全教(全日本教職員組合)」は、北海道高教組も加盟している全国組織です)

## 北海道高教組です。

私たちは、以下の実現をめざし活動しています。

- ①子どもの成長に寄り添い、人格の完成を目指す教育活動
- ②どの子にもゆきとどいた教育が保障される教育条件整備
- ③教職員が人間らしく働くことができる学校
- ④協力・共同を大切にした職場
- ⑤平和で誰もが大切にされる豊かな社会

**これからの「学校教育」や  
「働き方」を共に考えませんか?**

### 近日、開催予定の学習会

#### ☆教職員の働き方

に関して学びたい

「北海道の教職員のホントの  
働き方はどうなっているの?」

12月12日(日) 13:00~  
オンライン開催

#### ☆全国の若手教職員

と交流したい

「全国青年教職員学習交流  
集会「TANE! (タネ)」」

12月25日(土)・26日(日)

#### ☆学校の「校則」を

考え直したい

「道高教組

学校職場づくり学習会」

1月8日(日) 予定

#### ☆障害児者の教育

・生活について学びたい

「全国障害児学級・

学校学習交流集会」

1月8日(土)・9日(日)

上記の学習会に参加を希望される方は、職場  
の高教組組合員に声をかけるか、以下連絡先  
までお問い合わせください。

### 北海道高等学校

#### 教職員組合連合会

(略称 北海道高教組)

〒060-0042

札幌市中央区大通西12丁目

TEL 011-231-0816

FAX 011-241-8510

kokyoso@dokokyoso.jp

**A** 平和で豊かな  
社会を求めて



●「違和感を大事にして言葉にしよう。誰かわれりたりたかたれりたりもするけど、心に芽生えた思いに蓋をするのはまずい。疑問や不満こそ言葉にして伝えることが大切」と生徒に話しています。モノ言えぬ言わぬ社会の雰囲気の中、声を上げるのは勇気がいるが、そんなときいつも背中を押してくれるのが「組合」です。

●たとえ小さな声でも拾い上げ、伝えようとする誠実さ、困難を抱えている人に寄り添う暖かさ、そして、理不尽に敢然と立ち向かう勇気と未来を志向する強さが、子どもたちの支えにつながる活動を生んでいる、そんな組織が高教組だと認識しています。みんなにとっても「ほんとうのさいわひ」を模索できる場であってほしいです。

●「先生方は忙しくて仕事に没頭しているが、それでは社会のことが分からない。分からないと生徒の生活や育ちが見えて来ない。だから組合で勉強することが大事」と言っていた年配の先生の言葉を思い返すこの頃です。20年以上前に聞いたのですが、「忙しさに負けて大事なことを見失ってはいけない」と改めて思います。



●「この先生、熱い先生だな」と思っていた先生が組合員でした。そんな先生に困まれ、私もいつの間にか組合員となりました。子どもたちのために何ができるのかを常に考える同僚から刺激を受け、仕事の原動力になっています。日々多忙ですが「誰のため」をテーマにこれからも精進します。

●世の中が変わっても、教育という仕事が大変なことは不変です。目の前の子どもを大切にすること。常に物事の本質を見極め、子どものために最善を尽くすこと。良い学校、良い職場をつくるため、高教組で常に背中を見せてくださいました先生達がいるので、今の自分があります。組合には本当に感謝しています。

**B** もっといい教育を  
もっといい学校を



●教員1年目の4月に加入したものの、何も組合のことはやってこなかった私。あるとき先輩の先生から「〇さんは、あとは組合活動をやったら、もっといい教員になれる」と言われ、半信半疑でやってみたところ、視野が広がり、教員としての幅も広がり、高教組には感謝しかありません。



大切な **4つの活動**  
あなたの願いはどこに？  
～組合員の声を集めてみました～  
HOKKAIDO KOKYOSO

2019年6月、北海道高教組は、結成から70周年を迎えました。その節目に、現役組合員が、「どうして組合活動をしているのか?」「なぜ、組合が必要なのか?」それぞれが、自分の言葉で表現しました。その一部を紹介します。

詳しくは、[こちら](#)

**あなたも一緒に!**  
加入申込みは、HPからも可 **北海道高教組**



2020年1月開催  
「学校職場づくり  
学習会」  
齋藤真人さん  
(私立立花高校校長)

子どもを真ん中に置いた実践 (教育に関する学習会)



**D** いつでも助け合える  
仲間になる

●新人の頃、職場で本当に困っていた時、さりげなく相談に乗ってくれた組合の先生。「元氣を出して!」と奥様にお手製のお弁当までいただきました。その時のお弁当箱は、20年以上経った今でも毎日使っています。職場でお弁当を食べるたびに勇気づけられ、私の心の支えになっています。

●わたしにとって高教組は、答えが見つかる場所。勇気が湧いてくる場所。素敵な仲間と楽しく学び合える素敵なところ。

●いつも悩み戸惑う、弱く小さな自分だからこそ、つながり、支え合うことの大事さを痛感する毎日です。人間に対する暖かいまなざしを大切に生きてきた先輩方の背中から、今日も勇気をもらっています。

●職場からギスギスした雰囲気無くそう!そして、全ての学校を明るく和みのある職場にしよう! 子ども大人も笑顔があふれる学校がイイ!

●コツコツと地道に活動していることで、勝ち取ったり阻止したり。ハデに動いて即効果が見えるものではないけれど、もし組合活動がなくなったら、子ども達の未来はより暗いものになってしまうと思うのです。

●育児手当支給元年に組合に加入し、ためた育児手当で息子が大学に進学しました。つながりあって変革することが、子ども達の夢につながっていく...そんな組合活動に感謝しています。仲間がいるって素晴らしい。



**G** 生き生きと働ける  
職場環境を



2019年12月開催  
「変形労働時間制・  
緊急シンポジウム」  
工藤祥子さん (過労死家族の会・  
給特法改定案国会参考人)

教職員も人間らしい働き方がしたい! (働き方に関する集会)